

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成30年12月27日 (2018.12.27)

【公表番号】特表2017-536135(P2017-536135A)

【公表日】平成29年12月7日 (2017.12.7)

【年通号数】公開・登録公報2017-047

【出願番号】特願2017-545855(P2017-545855)

【国際特許分類】

C 1 2 M 1/00 (2006.01)

C 1 2 Q 1/06 (2006.01)

C 1 2 M 1/34 (2006.01)

【F I】

C 1 2 M 1/00 C

C 1 2 M 1/00 Z

C 1 2 Q 1/06

C 1 2 M 1/34 B

C 1 2 M 1/34 D

【手続補正書】

【提出日】平成30年11月15日 (2018.11.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

微生物の増殖又は貯蔵のためのデバイスであって、

a) 第 1 層の表面の第 1 部分を含む第 1 層であって、前記部分に第 1 の粘土を含む第 1 の水膨潤性ゲル化剤が固着されている、第 1 層と、

b) 前記第 1 層から分離可能であり、第 2 層の表面の第 1 部分を含む、第 2 層であって、前記部分に第 2 の水膨潤性ゲル化剤が固着されている、第 2 層と、を含む、デバイス。

【請求項 2】

前記第 1 層が、前記表面の第 2 部分を更に含み、前記第 1 層の前記第 2 部分が、第 1 層、接着剤、剥離ライナー、ダム、又はこれらの組み合わせを含む、請求項 1 に記載のデバイス。

【請求項 3】

前記第 2 の水膨潤性ゲル化剤が第 2 の粘土を含む、請求項 1 又は請求項 2 に記載のデバイス。

【請求項 4】

前記第 1 の粘土が、少なくとも 1 種の小板形状を備える、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載のデバイス。

【請求項 5】

前記第 1 の水膨潤性ゲル化剤が接着剤によって前記第 1 層に固着され、前記接着剤は前記第 1 層の表面の第 1 部分のみに配置されている、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載のデバイス。

【請求項 6】

前記第 1 の粘土が、未変性ヘクトライト、有機変性ヘクトライト、又はこれらの組み合わせを含む、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載のデバイス。

【請求項 7】

第 1 層、第 2 層、又はその両方の上に配置された指示薬を更に含み、上記指示薬が、塩化トリフェニルテトラゾリウム (TTC) を少なくとも 0.5 mg/cm^2 の量で含む、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載のデバイス。

【請求項 8】

微生物の増殖又は貯蔵のためのデバイスを製造する方法であって、
表面を備える第 1 層を提供する工程と、
第 1 の粘土を含む第 1 の水膨潤性ゲル化剤を前記第 1 層の表面の第 1 部分に固着する工程と、
表面を備える第 2 層を提供する工程と、
第 2 の水膨潤性ゲル化剤を前記第 2 層の表面の第 1 部分に固着する工程と、
前記第 1 層を前記第 2 層に積層する工程と、を含み、前記第 1 の水膨潤性ゲル化剤は、少なくとも部分的に前記第 2 の水膨潤性ゲル化剤と接触する、方法。

【請求項 9】

前記第 1 の水膨潤性ゲル化剤を前記第 1 層に固着する工程が、接着剤の層を前記第 1 層の表面上に配置することと、前記第 1 の粘土より疎水性の高い材料を前記第 1 層の第 2 部分を覆って配置することと、前記接着剤層を前記第 1 の水膨潤性ゲル化剤でコーティングすることと、を含む、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記第 1 の水膨潤性ゲル化剤を前記第 1 層に固着する工程が、接着剤の層を前記第 1 層の表面の前記第 1 部分上に配置することと、前記接着剤層を前記第 1 の水膨潤性ゲル化剤でコーティングすることと、を含み、
前記第 1 層の表面の第 2 部分上に配置された前記第 1 の水膨潤性ゲル化剤のうちの少なくともいくらかを除去する工程を更に含む、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 11】

前記デバイスを除染又は滅菌する工程を更に含み、前記除染又は滅菌する工程が、 $10 \text{ kGy} \sim 50 \text{ kGy}$ の線量の電離放射線への曝露を含む、請求項 8 ~ 10 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 12】

試料中の少なくとも 1 種の微生物を検出及び計数する方法であって、
請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載のデバイスを提供する工程と、
前記第 1 層を前記第 2 層から分離する工程と、
少なくとも 1 種の微生物を含有する試料のアリコートの前記第 1 の水膨潤性ゲル化剤又は前記第 2 の水膨潤性ゲル化剤に添加して、接種されたデバイスを形成する工程と、
前記第 1 層を前記第 2 層に再度積層する工程と、
前記接種されたデバイスをインキュベートする工程と、を含む、方法。

【請求項 13】

前記アリコートの添加後、前記第 1 層を前記第 2 層に再度積層する前に、前記第 1 のゲル化剤が混合されない、請求項 12 に記載の方法。